

第1号報告

令和5年度事業報告

令和5年度の事業が終了しましたのでここに報告いたします。

令和5年度の事業実績は、昨年度比4.6%減の5億5679万6278円、受託件数4.5%減の9,403件となりました。

会員数は昨年度比3.7%減1,204名となり、減少傾向が続いています。令和5年度事業実績の詳細につきましては、3ページに載せてありますので、ご参照ください。

本年度は政策的には第1次中期事業計画(令和2～4年度)の結果を振り返り、令和6年度からの3カ年計画となる第2次中期事業計画を策定する期間となりました。第1次で進めた中核事業(当シルバーが現在力を入れるべき事業)の強化、新規会員の獲得と広報活動強化、シルバーに関わる方々(発注先、会員、職員)の満足度向上につきましては、就業班の自主運営化や「輝け!この街で」の発行、ホームページのリニューアルなどによる市民への周知などにおいて、一定の成果が見られました。

会員数につきましては、「輝け!この街で」の発行により、これまでシルバーへの興味の薄かった市民の関心を惹く事で、発行前に比べ入会説明会への参加者が増えております。(入会者は微減)

しかし、会費未納者への会費納入依頼と在会意思確認の徹底を行っているため、年度末における退会者が138名となり、会員数を減らす最大の要因となっています。入会促進に加えて、退会抑止への対策が、会員増強における喫緊の課題です。

事業委員会では、当シルバーの平均年齢が75歳に限りなく近づく中、会員の満足度を上げるための検討を進めてきました。一部の就業班では「地域のために健康な間は、長く負担なく働く」ための就業システムの運用を開始していましたが、本年度はさらなる体制強化と、他の就業班への展開を進めました。また、コミュニケーション研修、技能研修などを積極的に実施しました。

広報委員会では広報紙「輝け！この街で」、会報誌「シルバーひがしむらやま」、の各編集委員会、ホームページ編集委員会との調整をとりつつ、市民や会員への周知を行いました。また駅前の案内看板、市役所内のデジタル掲示板への広告掲載などの広報にも力を入れ、より効果的な広報を行うため、入会時にアンケートを行い、センターを知るきっかけとなった広報媒体等を聞くなどしました。

女性委員会では、昨年度実施した男性会員のみの就業先での、女性委員自らの就業体験を踏まえ、本年度は一般女性会員の就業体験へと発展させ、実際に女性会員の就業に結びつけることに成功しました。またこの就業促進事業に加え、一般市民も対象とした「おしゃれセミナー」や、「折り紙で「コマ」を作ろう」などを開催し、シルバーの魅力をアピールしたことで、女性会員の退会抑制に繋がりました。また、同委員会で実施した、恩多町のヨークマートの店先をお借りした「出張入会案内」では、店舗を訪れる女性客を中心に、新規入会の案内を行いました。

総務委員会では、ホームページのリニューアル提案の他、Web 上での入会説明会申込み、Web 受注など入会希望者や一般市民が利用しやすい各種申込み方法の変更を行いました。また、会員へ就業情報の発信などタイムリーに情報が発信できるよう Smile to Smile（通称スマスマ）の導入及び登録促進、センター組織を上げてのペーパーレス化などのデジタル化についても進めてきました。

入会説明会制度についても運用方法を改め、「シルバー人材センター説明会」と「入会登録会」に日を分け、説明会では特に事前準備してもらうものをなくし、ちょっと興味のある方にも気軽に出席してもらえるようにしました。

結びに、東村山市をはじめ関係団体、そして市内企業、市民の皆様に対し、当センター事業にご理解・ご協力をいただきましたことを改めて感謝申し上げます。

I 事業実績

1 事業実績

月	会員数	就業 実人員	就業率	事業別	受託 件数	就 業 人 員		契 約 金 額			
						延実人員	延日人員	配分金	材料費	事務費	計
4月	1,282	806	62.9	公共	98	1,079	4,796	26,173,384	2,492,017	2,886,289	31,551,690
				民間	650	842	3,464	13,300,339	965,981	949,136	15,215,456
				計	748	1,921	8,260	39,473,723	3,457,998	3,835,425	46,767,146
5月	1,282	793	61.9	公共	93	877	4,878	25,738,488	2,160,267	2,448,021	30,346,776
				民間	672	982	3,515	12,652,846	1,028,306	1,010,724	14,691,876
				計	765	1,859	8,393	38,391,334	3,188,573	3,458,745	45,038,652
6月	1,287	809	62.9	公共	99	1,194	5,339	26,693,219	2,340,537	2,588,809	31,622,565
				民間	777	1,099	3,908	16,189,467	1,029,100	1,267,852	18,486,419
				計	876	2,293	9,247	42,882,686	3,369,637	3,856,661	50,108,984
7月	1,292	804	62.2	公共	96	769	4,465	24,536,126	2,024,990	2,539,343	29,100,459
				民間	740	1,066	3,578	13,968,509	1,652,196	1,276,073	16,896,778
				計	836	1,835	8,043	38,504,635	3,677,186	3,815,416	45,997,237
8月	1,293	799	61.8	公共	100	970	4,441	26,527,752	3,974,662	2,203,958	32,706,372
				民間	596	809	3,447	11,865,284	158,329	769,801	12,793,414
				計	696	1,779	7,888	38,393,036	4,132,991	2,973,759	45,499,786
9月	1,305	811	62.1	公共	98	1,084	4,788	27,058,798	2,535,868	2,875,644	32,470,310
				民間	722	1,032	3,569	13,738,848	1,321,280	1,270,544	16,330,672
				計	820	2,116	8,357	40,797,646	3,857,148	4,146,188	48,800,982
10月	1,308	809	61.9	公共	95	783	4,754	25,698,414	1,347,256	2,838,919	29,884,589
				民間	782	1,294	4,011	15,799,976	809,234	1,295,600	17,904,810
				計	877	2,077	8,765	41,498,390	2,156,490	4,134,519	47,789,399
11月	1,317	813	61.7	公共	100	998	4,838	26,937,516	1,252,758	3,126,514	31,316,788
				民間	753	1,151	3,705	15,286,438	1,363,793	1,377,845	18,028,076
				計	853	2,149	8,543	42,223,954	2,616,551	4,504,359	49,344,864
12月	1,335	811	60.7	公共	99	783	4,243	23,375,130	1,854,820	2,889,659	28,119,609
				民間	714	1,049	3,536	14,322,483	1,169,289	1,238,777	16,730,549
				計	813	1,832	7,779	37,697,613	3,024,109	4,128,436	44,850,158
1月	1,342	795	59.2	公共	98	642	4,017	23,396,332	1,532,523	2,643,495	27,572,350
				民間	610	942	3,212	12,341,407	687,076	1,511,683	14,540,166
				計	708	1,584	7,229	35,737,739	2,219,599	4,155,178	42,112,516
2月	1,342	801	59.7	公共	97	1,238	4,906	25,290,806	2,025,928	3,039,209	30,355,943
				民間	593	743	2,943	10,936,703	1,232,154	1,114,415	13,283,272
				計	690	1,981	7,849	36,227,509	3,258,082	4,153,624	43,639,215
3月	1,204	806	66.9	公共	102	1,256	5,061	26,826,511	2,370,761	3,253,432	32,450,704
				民間	619	810	3,205	11,681,856	1,503,340	1,211,439	14,396,635
				計	721	2,066	8,266	38,508,367	3,874,101	4,464,871	46,847,339
合計				公共	1,175	11,673	56,526	308,252,476	25,912,387	33,333,292	367,498,155
				民間	8,228	11,819	42,093	162,084,156	12,920,078	14,293,889	189,298,123
				計	9,403	23,492	98,619	470,336,632	38,832,465	47,627,181	556,796,278

Ⅱ 事業実施状況

1. 高齢者に適した就業機会の提供と新規事業の開拓

(1) 就業機会の確保・提供（年間）

就業実人員	965名
就業率	男性 78.9% 女性 82.7% 計 80.1%

※3P 記載の事業実績の実人員と就業率は月毎の集計です。

(2) 就業の適正化の推進

法令に則した臨時的かつ短期的または軽易な仕事の提供を推進し、また中期計画に基づき、就業グループ登録制度の促進と就業機会の公平化を図ってきた。また、一人でも多くの会員に就業が行き渡るように、ローテーション就業、ワークシェアを推進した。また、会員の生活習慣の多様化に伴う新就業システムの構築を進めた。

(3) シルバー派遣事業

年間受注件数	23件
就業実人員	21名
就業延人日	1,757人日
契約金額計	8,530,062円

(4) 東村山市委託事業 介護予防・日常生活支援総合事業

市の委託事業として、福祉・家事援助コーディネーター及び介護予防事業推進員を中心に、会員アシスタントの育成と配置、介護予防事業の推進を行った。

くもん式脳の元気アップ教室（脳トレ）では本年度予定の日程はすべて実施し、契約額としては微増となった。

これら事業は、まさに国が考える包括ケアシステム（重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現すること）の重要な一部を担っている。同時に、シルバー独自で行っている「憩いのサロン」「60歳からのカルチャースクール」等の直接的な介護予防事業に加え、就業やサークル活動などシルバー人材センターでの会員活動そのものが介護予防であり、地域包括ケアシステムの一端を担うものである。

・生活支援サービス事業（市委託事業）

年間受注件数	3件
就業実人員	8名
就業延人日	50人日
契約金額計	158,672円

・ドリル式認知症予防講座（市委託事業）

年間開催数	1会場（7ヶ月）
就業実人員	14名（延べ249名）

年間受講者数 18 名
年間契約額 1,943,238 円

(5) 中核事業の強化・推進

第1次中期事業計画で、中核事業の家庭サービス事業（家事援助サービス班・便利班・育児支援サービス班・ちょこっとお助け隊）、集合住宅等清掃班、屋内施設清掃班の班体制強化を進め、自主運営体制など一定の成果が見られ、令和6年度策定の第2次中期事業計画へ引き継ぐ。

家事援助サービス班では、会議や研修を重ね、安全安心に働ける環境を整えた。また、シルバーの理念でもある「自主・自立、共働・共助」の考えに基づいて、班の運営や就業における役割を一人に任せるのではなく分担することで、より多くの会員が参画する体制作りを進めた。

育児支援サービス班では本年度も多くの会員が研修を受講し、認可外保育施設としての就業体制を整えてきたが、民間託児所並みの設備や管理体制を法律上求められることから、就業会員の安全・安心を第一に考え、理事会判断により居宅での育児サービスの事業継続を断念した。

(6) 幅広い分野での就業の機会提供

趣味・特技のスキルを活かすため、「60歳からのカルチャースクール」、パソコン教室、おさらい・英語教室を開講した。カルチャースクールは10講座12教室（毛筆、太極拳、絵画、俳句、写真、フラワーアレンジメント、色鉛筆画、硬筆、短歌）各月2回。月謝は3,000円。実績は契約金額約506万円、受講生延べ約3,334人、講師就業人数10人、サポーター就業人数9人、会員の延べ就業人数は527人であった。

パソコン教室は定期講座（12種）と単発講座、平日午前・午後・夜間と時間帯を3つに分け開講。1回2時間、受講料は4回講座で12,000円、単発講座は1回5,000円。本年度の実績は、約310万円であった。

おさらい・英語教室は市内在住の小学生を対象にしており、学習意欲及び学力の向上を目的として実施。生徒は各クラス11名を上限に講師6名の体制で行った。実績は約300万円であった。

(7) 公共からの事業委託への取り組み

本年度の事業実績は最低賃金の上昇分、契約ごとの契約金額は上昇したものの、公共事業では学校消毒業務の終了、民間事業では、偽装請負を疑われる事業所への就業に対し、会員の安心・安全の確保を優先し、派遣就業への切り替え、契約終了といずれかへの選択を発注者に委ねた結果、派遣への切り替えが一部で、その他の多くが契約終了となり、大きく事業実績を減らすこととなった。公共事業と一般家庭・民間事業の割合は、公共66：民間34となった。

指定管理者制度の他、包括施設管理委託や公募施設管理者制度に移行される施設が増えていくことが考えられる。公共契約は極力維持しつつ、民間契約においても就業拡大に力を入れていかなければならない。

(8) 多様化する会員の満足度を高める活動

第1次中期事業計画で目的とした「シルバー事業に関わるすべての人の満足度を向上させる」だが、登録会員へのアンケートで多く見られた「健康な間は、長く働きたい」との声に応えるため、趣味や生活環境に合わせた働き方、これまでの年齢期限、就業年数の上限を超えても負担なく働けるような環境作りを進めた。本年度も継続して取り組み、多くの就業班へ展開した。

その他、就業以外での満足度の向上では、令和5年度も女性委員会を中心に、「折り紙で「コマ」を作ろう」、「おしゃれセミナー」など、主に女性の興味を惹くようなイベントを開催した。また、こちらも女性委員会の企画で、現在男性のみの就業先に女性会員による就業体験会を実施し、就業に結びつけた。

(9) 会員の増強

女性委員会では、スーパー店頭にて広報イベントを行い、市民に声かけをして女性会員募集の案内をした。

会員数は残念ながら、コロナの影響も残る中、4年連続の減となった。全戸配布広報紙「輝け！この街で」の発行直後は入会希望者が増加するものの、年間を通しての入会希望者は減少した。また年度末の会費督促、会員継続の意思確認などの徹底で退会者が増加している。今後、退会抑止の対策が急務である。

2. 普及啓発・調査活動のさらなる充実及び相談業務の実施

中期事業計画の柱のひとつ、広報活動と認知度の向上。広く地域社会にシルバー事業の意義、内容を周知するため、以下の普及啓発活動を行った。

(1) 普及啓発

ア. 広報紙「輝け！この街で」の市内全戸配布

市民への認知度の向上と、市民（読者）参加による双方向コミュニケーションツールとして、全戸配布の広報紙「輝け！この街で」（第7～10号）を発行した。

「輝け！この街で」編集委員会により、幅広い年齢層をターゲットとし、発注者の年齢層の拡幅、登録会員高齢化の上げ止まりを目指した。若い世代からの投稿が増えていること、また入会希望者の若年化が進んでいることから、読者が多世代にわたっていることが確認できる。

イ. ボランティア活動の充実

公益社団法人として地域に貢献することと、シルバーの存在を広く市民にアピールするため、ボランティア活動を実施している。令和5年度は4年ぶりとなるウォーキングと環境美化を兼ねた市役所周辺の道路清掃を行った。

また、事業委員会発で市内幼稚園の昔遊びボランティアが複数回行われ、大変好評を得ている。この動きは就業拡大にも繋がっている。

加えて植木班による武蔵野線植栽の苗の植え付け、低木の刈り込みの有償ボランティア活動は本年度も継続して行われた。（年2回）

ウ. 会報誌「シルバーひがしむらやま」の発行

シルバー人材センターの情報の提供と、会員相互の連帯意識を高めるために、「シルバーひがしむらやま」を年4回(167号～170号)発行し、会員並びに関係各所に配布した。

エ. 市イベントへの参加

4年ぶりの開催となった「緑の祭典」「市民産業まつり」「マッチングイベント」へシルバー事業のPRのため参加した。

オ. ホームページの積極的な活用

ホームページについては令和5年4月、新たに組織された「ホームページ編集委員会」のもと一新された。様々なシルバー人材センター事業を紹介し、周知を図った。

カ. シルバー人材センター展の開催

シルバー人材センター展についても3年ぶりに市役所いきいきプラザ1Fにて会員有志の会「元気会」の協力の下、活動の周知と会員の技能アピールの場として開催した。

(2) 相談事業

ア. 職員による一般相談

事務局において、会員の就業や生きがい活動等、常時相談を行った。

イ. シルバー人材センター説明会の開催

毎月第2水曜日計12回、シルバー人材センター説明会を開催した。説明会は専任の説明員が行った。魅力あるシルバー活動及び概要の説明をしたうえで、登録意思確認をし、登録会をご案内した。

事前受付 272名 説明会参加 197名

ウ. 入会登録会の開催

毎月第3水曜日計12回、入会登録会を開催した。登録会は専任の説明員が行い、登録時の面談は専任の面談員が行った。事業理念及び組織理念や就業規約等シルバーの特色を説明した。

事前受付 197名 入会登録者 181名

エ. 会員相談会の実施

専任の就業相談員による会員就業相談会を実施した。

令和5年4月～令和6年3月

就業相談会参加 36名 就業機会提供者 35名 就業者 14名

(3) 高齢者の就業に関する調査、分析

高齢者の就業に関して、分析と検討を加え、就業機会の開拓に役立てるため、以下の調査、研究事業を行った。

ア. 就業実態調査

毎月の事業実績を分析・検討した。

イ. 発注者アンケート調査

発注者を対象に、はがきによるアンケート調査を実施した。広報委員会では可能な限り地域のニーズを把握し、事業の活性化に取り組んだ。

調査対象 令和5年4月~令和6年3月分

回答件数 394件(家事援助、植木班作業分を除く)

3. 知識、技能講習会、研修会の実施と参加

高齢者の就業に必要な知識及び技能の習得、向上を図るため、以下の事業を行った。

(1) 東京しごと財団等が行う研修への参加

研修内容	参加回数	
安全研修	3	KY研修 1回、 自転車安全マナー 2回
福祉・家事援助研修	3	生活支援 1回 ステップアップ接遇 1回 アシスタント研修 1回
育児支援研修	4	ベビーシッター養成・現任研修 1回 居宅訪問型保育基礎研修 3回 オンラインによる

(2) 就業支援講習、ブロックが主催する研修

市民、会員を対象に、東京しごと財団が主催する就業支援講習(植木の手入れ、ハウスクリーニング等)への参加を呼びかけ、会員増強と就業機会の確保に努めた。

(3) 自主研修

研修内容	実施回数	実施月
植木手入れ研修(座学)	3	1. 2. 3
便利班実技研修	1	10
清掃基礎研修	3	9(2回). 2
学校清掃班ワックス研修	1	8(1回)
会員定期研修(コミュニケーション)	4	9. 2(各2回)

4. シルバー運営体制の充実

(1) 役員活動

会 議	内 容	実施回数
理 事 会	シルバーの活動方針の決定	12
三 役 会 議	シルバーの重要な案件の審議	15
経 営 会 議	シルバーの経営についての審議	10
総 務 委 員 会	組織に関する案件の審議	11
事 業 委 員 会	事業に関する案件の審議	11
広 報 委 員 会	情報活動に関する案件の審議	11
女 性 委 員 会	女性会員の就業拡大と増強	12

5. 安全就業対策の充実と会員の健康維持

会員の安全就業の確保と健康維持の推進を積極的に行った。

(1) 安全管理委員会の開催

安全管理委員会を 8 回開催し、会員の健康と安全のため以下の事業を行った。

(2) 感染症の対応

「手洗い」「咳エチケット」の継続など、コロナ5類移行後も感染症への対策を継続した。

(3) 安全就業に関する講習会

刈払機、チェーンソウの安全な使用方法については例年林材業労働災害防止協会主催の講習会に参加している。本年度は刈り払い機講習に 3 名参加。チェーンソウ講習には 3 名が参加した。新たにコマツゼノア主催の刈払機講習にも 1 名参加した。自転車乗用マナーについての講習については会員定期研修開催時に併せて行った。

また、清掃基礎研修時に KYT（危険予知トレーニング）研修を行い、就業班ごとに実施できるよう指導した。

(4) 「安全就業強化月間」の設定

東京しごと財団とともに、7 月を安全就業強化月間に設定し、安全就業対策として、安全標語の発表と徹底を図った。また、垂れ幕等の掲出、安全標語優秀作品ののぼり旗を作成し掲示、就業現場の巡回を行った。12 月に翌年度の安全標語の募集、年明けに入選作の選考を行った。

安全標語 応募総数 18 名 75 作品

(5) 安全就業の巡回指導

就業現場の巡回について、本年度の安全管理委員による巡回は、夏に 8 ヶ所を訪問した。安全巡回指導員により、事故現場の状況把握と事情聴取を行い、通年で巡回指導を行う中で安全就業についての指導を徹底した。

(6) 健康管理・維持のための講習会等の実施

例年市民スポーツ課の協力を得て、会員の健康管理・維持を目的とした「ストレッチ教室・体力測定」を行っているが、本年度は市役所事業「60歳以上のかたの体力測定」へ参加を促し、1名の会員が参加した。

(7) 安全衛生への注意喚起・啓発

シルバーひがしむらやまに併載した安全通信において、危険予知、健康診断の奨励などの啓発や注意喚起を行った。

また、東京しごと財団の安全就業ニュースを配布、掲示した。

事務所入り口にて、自転車の安全点検も実施した。

5月31日 74件

6. 地域班・職群班活動

(1) 職群班活動

就業グループ登録制度に則り、組織強化を図るための就業グループ会議を33回開催した。

(2) 地域班活動の活性化

ボランティア活動などの地域班を中心とした事業の実現を図るための地域班会議を、12回開催した。

7. その他の事業

(1) 会員表彰の実施

永年にわたりシルバーの事業発展に寄与し、業績が顕著な会員17名に対し表彰を行った。

Ⅲ 会員の状況(令和6年3月31日現在)

1. 会員数

男 816人 女 388人 合計 1204人 構成比 67.8 : 32.2

会員数は昨年度比△46名

2. 会員の年齢構成

年 齢	性 別			合 計	昨 年 比
	男	女	合 計		
60歳未満	0	0	0	0	
60歳から64歳	32	19	51	110.9%	
65歳から69歳	131	65	196	101.6%	
70歳から74歳	227	146	373	87.8%	
75歳から79歳	240	96	336	96.0%	
80歳以上	186	62	248	105.1%	
合 計	816	388	1,204	96.3%	

3. 平均年齢

男 75.3歳 女 74.1歳 全会員 74.9歳

平均年齢は男性女性共に0.1歳上昇した。

4. 入退会の状況

入退会者

月別	令和5年									令和6年			年度計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入会者	38	14	22	14	6	17	16	13	21	11	9	0	181
退会者	6	6	25	9	5	5	13	4	3	4	9	138	227

入会者合計は昨年度比7名減

入会者は「輝け！この街で」発行に合わせ6、9、12、3（3月の説明会参加者は4月に入会を変更する人が多い）に増加する傾向にある。男性は5名、女性が2名の減少。

退会者合計は昨年度比28名増

一方退会者とはいうと、6月は会費の請求、3月は会費の督促と4月から新年度となり新たな会費が発生するため、年度で就業が終了となる会員等の退会が増える。

退会者(退会理由)

病気(本人)	47	家庭の事情(介護等)	12
シルバー事業を通じて就職	1	会費未納	41
その他で就職	15	加齢	32
死亡	16	他団体等への加入	0
転居	8	センター運営に対する不満	2
希望する仕事なし	12	未回答(不明)	6
就業機会なし	16	その他	19
		合計	227

退会理由で最も多いのは病気(本人)。死亡や加齢も含めると本人の体調変化等による理由が95人となる。